

(5) *Sympetrum frequens* (SELYS, 1883) アキアカネ

9-X-1988 (採集, 撮影), 22-X-1988 (目撃), 10-X-1990 (目撃)

年によって見られることもあり, 見られないこともあるが, 見られる年には普通にいる。

(6) *Sympetrum eroticum eroticum* (SELYS, 1883) マユタテアカネ

8-V II-1989 (撮影), 10-IX-1989 (目撃), 18-V III-1991 (目撃)

個体数は少なく, 毎年見られる種ではない。

安倉上池で確認したトンボは31種になったが, 池及びその周辺的环境には, ほとんど変化がないのでトンボ相にもほとんど変化はなく, これまで出会わなかったもの, 時々, 他所から飛来するものなどが新たに見つかるだけである。6月から7月にかけてアオヤンマはマコモの間を飛び, ウチワヤンマは棒杭やアシの枯穂の先に点々ととまっている。また, オオヤマトンボの脱殻は水上ゴルフ場の棒杭に並んで付着している。アオヤンマは付近の安倉中池が改修されて発生できなくなったため, 市街地唯一の発生池になったが, 池をめぐる環境が変わりそうにないので, 発生し続けるであろう。

## 武庫川のヒメジュウジナガカメムシ (続報3)

新 家 勝

武庫川のヒメジュウジナガカメムシについては, 本誌第10巻第1号, 第11巻第2号, 第13巻第1号の3回にわたって, 発生状況, 生態等を報告したが, 産卵場所の発見と各令幼虫の形態図の作成が宿題となったままである。産卵場所を野外で発見するのは困難なため, ガガイモを植木鉢で栽植し, 成虫を飼育して発見することを試みたが, ガガイモの栽植が意外にむずかしいこと, なんとか栽植できても成育状況が悪いとカメムシは産卵せずに離散してしまうので産卵場所を確認していない。宿題を抱えたまま何の報告もしないでいることは大変気掛かりなので, 今回はその後の発生状況だけとし, カメムシの健在ぶりを報告させていただく。

本種及び食草の発生状況は表のとおりであり, 宝塚大橋から武庫大橋までの武庫川に広く分布して発生し続けていることがわかる。河川の改良工事や河川敷の公園化と耕作により, ガガイモがなくなる

と本種もいなくなるが、ガガイモが復活することが多く、そうした所では本種も復活するので、余り衰退することなく生息を続けている。しかし、2,000頭を超えるような大群棲は、その後、見られない。

その理由は、高水敷や堤防でのガガイモの大群落が、クロマツ、エノキなどの樹木の生長やクズなど優勢な他の草本の繁茂のため、衰退したことによる。ガガイモの大群落は洲にもよくできるが、洲の撤去のためになくなりがちであり、また残っていても大雨時の増水による冠水により本種の発生が抑制されるので大群棲には至らない。

地 点	標準地域 メッシュ	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992
左岸, 荒神川 合流点付近	52351268	-	-	◎	○	○	◎	◎	◎
左岸, 宝塚新大橋 付 近	52351259	○	○	○	○	◎	○	○	◎
左岸, 天王寺川 合流点付近	52351320, 52351330	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
左岸, 阪急神戸線 鉄 橋 付 近	52350390	○	◎	○	○	○	◎	○	◎
左岸, JR東海道 本線鉄橋付近	52350380	○	◎	○	◎	○	-	◎	○
右岸, 仁川 合流点付近	52351229, 52351239, 52351320	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○
右岸, JR山陽 新幹線付近	52351310	○	◎	○	○	○	○	○	○
右岸, 阪急神戸線 鉄 橋 付 近	52350390	○	◎	○	○	◎	○	○	○
右岸, 名神高速 道路 付 近	52350380	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
右岸, 武庫大橋 付 近	52350370	◎	○	◎	○	○	◎	○	-

◎：本種の発生を確認， ○：食草の生育を確認， -：本種， 食草とも見つからなかった。

武庫川ぞいヒメジュウジナガカメムシ発生地点図

